

講演会
報告

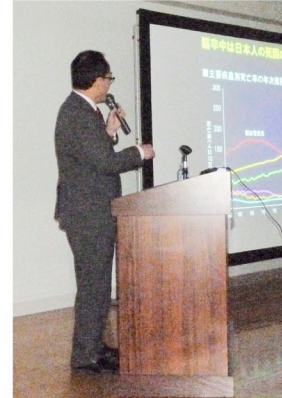
脳卒中を学んで、
突然死を予防しよう

昨年12月に、南那須公民館で開催した講演会には、約100名の方に参加いただきました。

第1部は、那須南病院長の宮澤保春先生から「地域包括ケアにおける那須南病院の役割」と題して、地域唯一の第2次救急医療病院としての役割とともに本地区の包括的ケアの重要な位置づけとその役割についてわかりやすく、具体的なお話をいただきました。参加者からは、「あらためて那須南病院のありがたさを感じた」との声を多数いただきました。



第2部は、自治医科大学神経内科学部主任教授の藤本茂先生から「脳卒中を知る・防ぐ・治す」と題し、まず、早期発見につながる「FAST」(F:顔のゆがみ・A:腕の麻痺・S:言葉の傷害・そしてT:一刻も早い対応)について詳しい話があり



ました。次に防ぐということでは高血圧・糖尿病・脂質異常症の方や喫煙も脳卒中の発症リスクが高いことや、検査を受け脳動脈瘤を早期発見して発症前に治療するなど重要との話があり、治すためには急性期治療やその後のリハビリ等など総合的な治療の詳しい話がありました。

参加者からは、「脳卒中についてとてもよく分かった」「生活の中でいかに早く異変に気づくか」「ためらわず救急車を呼ぶようにする」などの声がありました。

お知らせ

地域住民公開講座
介護落語
「があちゃんが倒れた」
講師：吉原 朝馬氏
●12月8日(日)
午後1時半～3時
●鳥山公民館
主催：南那須医師会 他

会の活動いろいろ

那須南病院内ボランティア

いろいろな個人や団体にご協力いただきながら実施しています。活動の一部をご紹介します。

●クリスマス会

昨年12月21日のクリスマス会には、那須烏山市国際交流会の皆さんにギターやオカリナ演奏をしていただきました。

出演者の皆さんは、サンタやトナカイ等の衣装を身にまとい、演奏を披露していただきました。また、演奏の合間に手を使った運動を披露していただき、会場にいられた患者さんにも合図に合わせて運動に参加されました。

●七夕の会

7月5日の七夕の会には、那須烏山尺八愛好会の皆さんに協力していただき、尺八演奏を行いました。



●敬老会

9月6日の敬老会ではブルメリアの皆さんが、フラダンスを披露しました。

出演者の皆さんは楽曲毎にカラフルな衣装を身にまとい、素晴らしい踊りを披露しました。また、フラダンスの動き方を丁寧に説明していただき、患者さんも一緒に手の動き方を練習しました。



●病院内に作品展示

待ち時間などの心安らぐひと時になれば、と始まった作品展示も早いもので9年目。絵画、写真、俳句など毎月内容を変えています。7月は初めて、院内デイケアで患者さん達が作ったものを展示しました。

高齢者の方がリハビリを兼ねて一生懸命取り組んだ作品には「素晴らしい」との声をたくさんいただきました。

●病院周辺清掃活動

くさんいただきました。デイケアのお手伝いをされている皆さんの励みにもなりました。手作りのいろいろな作品をお持ちの方、皆様のご協力をお待ちしております。



●福祉まつりでAED講習会

毎年消防署・救急救命士の方の協力で心肺蘇生法とAEDの講習会を実施しています。



年に1~2回、病院周辺の清掃活動を実施しています。

